



東京消防庁災害時支援ボランティア

ボランティア通信

【第142号】



災害時の「縁の下の力持ち」

丸の内消防ボランティア



当署では令和7年1月25日（土）に、東村山災害時支援ボランティア第5回レベルアップ訓練を実施しました。内容は「震災時に炊き出し支援等を行うための、大型バーナー取り扱い訓練」です。大地震が起こった時、疲弊した職員の英気を養うためにも、温かい食事は欠かすことのできないものです。そのような時、災害時支援ボランティアとして自主的に活動できるよう、炊き出し用資器材の収納場所の確認や、設定訓練を実施しました。

災害時支援ボランティアとして日の浅い方々の中には、バーナーや大型鍋、使用する燃料の場所などを把握していない方もおり、実際の災害時に役立てるよう収納状態から設定までの流れを真剣に取り組みました。

災害時支援ボランティアの方からは、「消防署の方々と共に災害に立ち向かうための確認ができた」「これまでの訓練を生かし、災害が起きた時に自分たちの地域を守るリーダーとして活躍したい」等のお声をいただき、改めて災害時支援ボランティアとしての意識の高さを感じました。私たち消防職員も、災害時支援ボランティアの方々の熱意に負けぬよう、来たる大災害に備えて共に協力していきます。

